

指定管理施設の管理運営評価表（評価対象年度：令和7年度）

担当部署名	産業文化部 林業・西部農水振興課
評価対象期間	令和 7年 4月 1日 ～ 令和 8年 3月 31日
評価対象年度指定管理料	26,243,000 円

1. 施設の概要等

施設の概要	名 称	松阪市森林公園
	所 在 地	松阪市伊勢寺町1678番地
	設置目的	松阪市森林公園は、昭和 63 年に松阪市中心部の西、観音岳山麓の自然に恵まれた区域に、自然に親しむ環境を市民に提供するとともに森林資源の活用を図り、併せて地域の経済的向上に資することを目的に設置された施設。
	設備の概要	○施設面積5.022ha ○バンガロー6棟 ○テントサイト32区画 ○共同浴場（宿泊者のみ利用可） ○炊事棟 ○バーベキューハウス ○木工教室 ○食堂 ○芝生広場（遊具有） ○親水公園 ○展望台

2. 指定管理者の概要等

指定管理者	名 称	株式会社松阪協働ファーム
	所 在 地	松阪市伊勢寺町551-3
指定管理業務の内容		○公園の運営企画、利用及び行為の許可、施設の利用料金の徴収等、維持管理に関する業務
業務運営実施状況	管理業務の実施状況	○バンガロー（宿泊）542棟、テント利用 1,470サイト ○施設利用者 7,072人(内 木工棟利用者 1,201人) ○来園者数 96,174人 前年比 100.1%
	サービスの質の向上	○新たに駐車場付きプライベートサイト設置 ○森の湯にウォーターサーバー機、マッサージチェアを設置 ○木育を推進すべく「みえ森林教育ステーション」の認定を受ける。木工棟に檜の本棚、ラック、机、木製玩具を設置 ○オートサイトの炊事棟へ簡易給湯設備を設置した ○チェックイン時の渋滞を解消するため、受付方法の改善を実施 ○デイキャンプサイトにペット同伴サイトを設置 ○キャンプ 冬用レンタル品の更なる充実化を図った ○ピザ体験用石窯を設置
	施設・設備等の維持管理	○バンガロー6棟 床材交換 ○バンガロー雨樋、扉修繕 ○鯉の池 防護柵設置 ○七輪長屋 雨漏り、風対策、塗装 ○花おこし裏 シンク給湯配管工事 ○WiFi を木工棟設置 ○井戸ポンプ制御盤交換 ○濾過器逆止弁交換
指定期間		令和 3 年 4 月 1 日 ～ 令和 13 年 3 月 31 日

（単位：円）

			令和7年度 事業計画 (税込)	事業収支実績(税抜)				
				令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業収支推計	収入	指定管理料	23,855,457	23,009,363	23,015,457	23,689,092	23,857,275	23,857,275
		売上高	28,667,700	20,570,604	29,406,587	29,172,305	26,030,578	28,812,615
		雑収入	308,598	56,100	18,231	287,248	318,020	218,907
		助成金等		256,000		480,000	1,237,000	
		計 (A)	52,831,755	43,892,067	52,440,275	53,628,645	51,442,873	52,888,797
	支出	人件費	28,228,450	20,414,894	26,323,882	27,488,841	27,460,945	27,825,340
		運営費	14,168,489	13,032,022	14,690,416	14,937,646	14,334,235	14,273,297
		施設管理費	3,210,000	3,161,628	2,967,546	3,364,200	3,524,700	3,618,260
		仕入高	5,432,409	5,560,058	7,887,345	7,491,149	5,904,113	6,965,570
		寄付金(緑の募金)				10,000		10,000
		計 (B)	51,039,348	42,168,602	51,869,189	53,291,836	51,223,993	52,692,467
	収支差引額 (A) - (B)		1,792,407	1,723,465	571,086	336,809	218,880	196,330

3. 指定管理者業務運営項目別評価

評価項目			指定管理者自己評価		担当部署評価	
業務運営項目		内 容	採点	判定	採点	判定
管理業務の実施状況	①施設の目的や基本方針の確立	施設の設置目的に基づいた管理運営上の基本方針が確立されていたか。 また、職員は理解していたか。	5	A	5	A
	②施設設置目的の達成度	施設の管理運営を通して、施設の設置目的は達成されたか。	5		4	
	③利用者数	利用者数は当初目標数を達成されたか。	4		5	
	④運営状況	施設の供用日数・供用時間は守られたか。また、適正な施設の維持管理、運営が行われたか。	5		5	
	⑤職員の配置状況・勤務実績	職員の配置状況・勤務実績は適正であったか。また、業務執行体制（作業責任者・業務担当者）は明確になっていたか。	5		5	
	⑥意思疎通	管理運営業務全般について、市と指定管理者の責任者の間で十分な連絡調整がなされていたか。	5		5	
	⑦各種管理記録等の整備・保管	各種業務計画書、点検記録、整備・修繕・事故・故障等の履歴等の各種管理記録等が整備・保管されていたか。	4		4	
	⑧地域の振興・活性化	地域や地域住民との交流・連携に関する取組みを実施し、地域交流の支援を行ったか。	5		5	
サービスの質の向上	①施設利用状況及び利用者数増加への取組み	自主事業や運営方法の工夫等利用者数増加に向けた具体的な取組みはあったか。（注1）	5	A	5	A
	②利用者の平等な利用	個々のサービスについて、対応職員によって格差が生じないように、施設のサービス水準を確保するための取組みを行ったか。	4		4	
	③適切な情報提供	全ての利用者が情報を得ることができるよう適切な利用情報の提供を行ったか。	5		5	
	④利用促進・PR	当該施設・事業について、広報誌やパンフレットを作成するなど、具体的な取組みが実施され、積極的な利用促進が図られたか。	5		5	
	⑤非常時・緊急時の対応	事故、災害等の緊急事態発生時の危機管理マニュアルの整備や対応体制の確立はされていたか。	4		5	
	⑥苦情解決体制及び対応	利用者からの意見・苦情等を受けて迅速かつ適切に処理できる体制が整っていたか。 また、事故、苦情に対する対応は適切であったか。	5		5	
	⑦自主事業	利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	5		5	
	⑧利用者アンケートの実施	利用者アンケートを実施し、利用者の意見・要望、満足度の把握に努めたか。 課題がある場合は対応策を講じたか。	5		5	
施設・設備等の維持管理	①建物・設備の保守点検	建物・設備が適切に管理され、安全性の確保及び良好な機能の保持がされていたか。	4	A	4	A
	②備品・什器等の保守点検	備品・什器等が適切に管理され、良好な機能が保持されていたか。	4		4	
	③修繕業務	点検によって異常が認められた場合には、速やかに修繕・交換・整備・調整等の適切な処置を講じたか。	5		5	
	④樹木・植栽等管理業務	草取りや除草等を行い、利用者が快適に利用できるような良好な景観が保たれていたか。	5		5	
	⑤清掃業務	敷地内は全て利用者が快適に利用できるよう清潔な状態が保たれていたか。	5		5	
	⑥鍵管理	鍵の管理は適切であったか。	4		4	

【（注1）のみ指定管理施設の管理運営評価表作成要項の評価基準1-（2）の採点基準にて評価】

4. 総合評価

指定管理者自己評価	担当部署評価
【努力した点・成果等】 ①バンガローの軋みの出ていた床材を全棟明るい色彩に交換。リフォーム感が出て542棟稼働。施設利用料は値上げしたが前年比109%進捗。 ②木工棟内に新しく木育ひろばコーナーを設置 木工棟利用者1,201人。 前年比167.5%に進捗した。 ③花おこし店内にて、キャンプ利用者メニューやお弁当等工夫を凝らした商品の品揃えを実施 結果は食堂は111.1%、食堂外は123.8% 前年より進捗。 ④冬用のレンタル品等を充実。レンタル関連は、前年比106.8%進捗した。 ⑤ディキャンプのサイトを新たに宿泊用として車両横付けサイトとして改修。結果前年比281.1%進捗した。 ⑥デイキャンプサイトに新たにペット同伴コーナーを設置。前年比115.5%進捗した。 ⑦松阪農業公園との連携プロジェクト会議がスタート 花おこしのカフェ化のテストや共同開催した原木椎茸フェア等の取り組みが行われた。 ⑧林野火災注意報が発令と合わせて各サイトに防水タンクを設置。	【評価すべき点】 ○SNSや公式ホームページをはじめ、イベントチラシを活用した積極的な情報発信やクロスメディア戦略により、施設の利用率や稼働率が向上している。 ○利用者アンケートの意見やポータルサイトのレビューについても、積極的にフィードバックが行われている。また、ポータルサイトでは高評価の口コミが多く見受けられる。
【改善すべき点】 ①全国的にもキャンプ場のオートサイト化への移行が始まっている。今季オートリバーサイト改修を行い、取り組みを成功させたい。 ②みえ森林教育ステーションの認可を受けて、本格的な木育活動が始まる。SNSや市内保育園へのDM、宿泊者への利用の呼びかけを行い、親子で木育学習が出来る中南勢地域の拠点施設となるように努めたい。 ③全国の公園で老朽化した樹木の倒木被害が起きている。樹木医の指導を受けながら適切な管理を行っていく。 ④全国的な山火事被害を受け林野火災注意報が発令される事になり、宿泊者への火の取扱いに関して啓蒙活動に取り組んでいく。 ⑤井水管理に年間多くの費用をかけている。積極的に自然の水の美味しさを知らせて、費用対効果に繋がる取り組みに結び付けたい。 ⑥引き続き今季成果のあったベルファームとの連携活動に努める。	【指導すべき点】 ○全国的な熊騒動の影響を受け、登山客の減少傾向が続いている。その状況を踏まえつつ、平日や閑散期における集客対策について、引き続き多角的なアプローチにより、更に創意工夫されたい。
【所属長意見（今後の方向性等）】 令和7年度の主な取り組みとして、園内の自動販売機の売上などを原資とした無料の木育イベントや、松阪農業公園ベルファームとのコラボイベントなど積極的に実施されました。さらに、利用者ニーズに応える形で、森の湯へのウォーターサーバーやマッサージ機の設置、オートキャンプサイトへの給湯設備の設置、ペット同伴可能エリアの拡大など、ハード面でのサービス向上にも注力されました。 キャンプブームが落ち着きを見せる中、施設利用者の増加を目指して、サービス向上やSNSを活用した情報発信の強化に努め、また、同じ「株式会社松阪協働ファーム」が運営する指定管理施設「松阪農業公園ベルファーム」との連携を通じて地域活性化を図り、民間のノウハウを活かした運営体制のさらなる充実を期待しています。	

点数	採点基準	
5	優良	協定等で定めた水準以上のサービスが提供されているとともに、独自の新たなサービスが提供されている。
4	良	協定等で定めた水準以上のサービスが提供されている。
3	普通	協定等で定めた水準のサービスが提供されている。
2	やや劣る	協定等で定めた水準のサービスが一部提供されていない。
1	劣る	協定等で定めた水準のサービスが多くの業務で提供されていない。早急に改善が必要である。

評価	評価の判定基準
A	5が半分以上かつ残りも3以上
B	全てが3以上
C	2が含まれる
D	1が含まれる